# 情報処理学 a

Information Processing a

| 教養教育科目 | 自然情報科学 | 1 学年・前学期 | 必修　1 単位 |
|---|---|---|---|

| 担当教員名 | 研究室名（場所） | 内線 | E-mail | オフィスアワー |
|---|---|---|---|---|
| 笹野 一洋 | 数学助教授室<br>(共同研究棟・5F) | ２７４０ | ksasano@las.u-toyama.ac.jp | 火曜日 17：00〜19：00 |

| | |
|---|---|
| キーワード | 情報リテラシー，Macintosh，統合型ソフトウエア，ワードプロセッシング，表計表，グラフィクス，プレゼンテーション，データベース，Internet，Web browsing，情報検索，e-mail |
| 一般学習目標 | 情報リテラシー（読み書きの能力）として，ワードプロセッサーをはじめとする種々の機能とインターネットを活用できるようになる。 |
| 達成目標 | 1. Macintosh の基本操作ができるようになる。<br>2. AppleWorks を用い，表計算・グラフィクス・グラフなどを駆使した文書をワードプロセッサーで作成することができるようになる。<br>3. Microsoft PowerPoint を用いてプレゼンテーションができるようになる。<br>4. Filemaker を用いてデータベースの構築と利用ができるようになる。<br>5. インターネットの概要について説明できるようになる。<br>6. Web page を検索して情報を収集できるようになる。また，情報の真偽について留意できるようになる。<br>7. e-mail を使用して情報の交換を行えるようになる。<br>8. 著作権等に関する意識を高める。 |
| 授業の形式 | 実習 |
| 成績評価の方法 | 毎回出席することが最低必要条件。その上で，ほぼ毎回提出して貰う課題と，プレゼンテーションの実演，および実習終了後に作成・提出して貰うレポートによって評価する。 |
| 教科書／参考書 | とくに指定しない。<br>プリントを配布するが，各人が解説を聞いて必要事項を書き込みすることで初めて完成するように，敢えて簡略化してある。プリントを貰っただけで安心しないこと！ |
| メッセージ | 解説を良く聴くことと，それを体験として体にたたき込むことが大切である。既にパソコンに触れたことのある者にとっては，最初のうちはつまらないかもしれないが，授業のスピードは極めて速く，また内容も系統的で濃いため，「気が付いたら落ちこぼれていた」ということのないように十分注意すること。 |
| 備考 | 学生諸君の到達度に応じて進度は変更されるので「授業計画」はあくまでも目安である。なお，毎回の授業を，「課題が出来た人から終了」という形態にすることもあるので，授業中の説明をしっかりと聞いて，「何をすればよいのかわからない」という状態にならないように注意すること。 |

# 授業計画

| 回 | 主題と位置付け | 学習方法と内容 |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション<br>基本操作（1） | ・オリエンテーション<br>・コンピューターの構造<br>・Macintosh の電源のオン・オフから始まる基本操作 |
| 2 | 基本操作（2） | ・ウィンドウとファイルシステム<br>・オブジェクト指向<br>・プログラムの起動と終了<br>・プログラムと文書の関係 |
| 3 | 基本的な編集 | ・文書の作成・保存・編集・印刷<br>・ファイルサーバーの利用方法<br>・日本語の入力など |
| 4 | インターネット（1） | ・インターネットの概要の理解<br>・サーチエンジンを用いた情報の検索 |
| 5 | インターネット（2） | ・インターネットの問題点，危険性，マナー<br>・フィッシング，架空料金請求<br>・コンピューターウイルス，ワーム，トロイの木馬<br>・e-mail プログラムの設定と利用 |
| 6～8 | 統合型ソフトウエア（1）：<br>ワードプロセッサー環境 | ・統合型ソフトウエアの意味<br>・異なる環境の混在方法<br>・AppleWorks のワードプロセッサーの基本機能・応用機能<br>・文章の作成実習<br>・アウトライン形式とその利用<br>・より高度なワードプロセッサー（Microsoft Word）とその功罪 |
| 9 | 統合型ソフトウエア（2）：<br>表計算環境 | ・表計算とは？<br>・表計算環境の利用実習<br>・グラフの作成<br>・より高度な表計算ソフト（Microsoft Excel）とその功罪 |
| １０ | 統合型ソフトウエア（3）：<br>グラフィクス環境 | ・グラフィクスの種類とその使い分け<br>・ペイント形式とドロー形式の双方について，作成実習<br>・ワードプロセッサー，表計算，グラフィクスの全てを使用した文書の作成実習<br>・フォトレタッチ |
| １１ | プレゼンテーション（1） | ・コンピューターを用いたプレゼンテーション<br>・Microsoft PowerPoint の紹介<br>・プレゼンテーション資料の作成実習 |
| １２ | プレゼンテーション（2） | ・前回作成した資料を用いた発表会 |
| １３ | データベース（1） | ・データベースのデータ構造：レコードとフィールド<br>・Filemaker の紹介<br>・データの作成<br>・データの検索とソート<br>・他のソフトウエアとのデータのやりとり（取り込みと書き出し）<br>・表計算とデータベースの使い分け |
| １４ | データベース（2） | ・具体的なデータを用いた，データベースの構築 |
| １５ | まとめと発展 | ・これまでの総括，および発展的話題 |